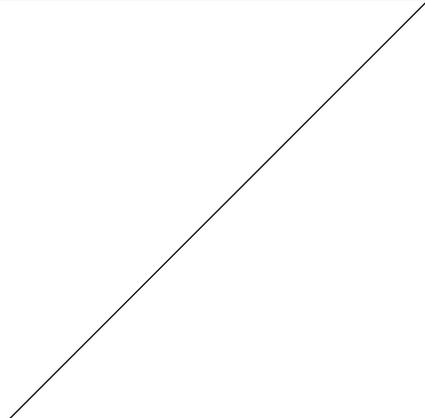


平成 30 年度県立笠間高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である (2) B おおむね妥当である (3) C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の資質向上を目指した「ちょっと見週間」の試みは大変良いと思います。ネーミングもよく無理のない範囲でやっという姿勢が効果的だと思います。 <要望・意見等> ・ICTによる授業改善を更に積極的に取り組んで欲しい。 ・進学・就職共に成果が見られ生徒の学業の安定がうかがえる。重点目標④⑤(生徒指導)については生徒への指導を慎重に対応してほしい。 ・整理された目標のもとで十分な成果をあげている。B評価である生徒の自主性の発現については難しいと思うが、継続して努力して欲しい。昨年の成果の服装頭髪指導が徹底されていたと思うが、アンケートに見られる反発への考え方も整理しておきたい。
2 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である (2) B おおむね妥当である (3) C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価はデータをもとに妥当性・信頼性がある評価になっていると思います。 ・教科において基礎学力の定着を目標とすることが多く見られる。これが笠間高の現実を表していると思う。ここから目をそらさずに、地に足をつけた目標設定がなされていることを評価したい。 ・教員の生徒指導は容易ではありませんが、我が国を担う大切な人材ということを踏まえて対応していただきたい。それが校風となり引き継がれ笠間高等学校のアイデンティティーになると考えます。
3 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A 十分把握している (4) B おおむね把握している (1) C あまり把握していない D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の課題をしっかりと把握して次年度の計画を立てていると思います。就職率100%は素晴らしいことであり、先生方のご努力に頭が下がります。 ・実情に合わせて来年に向けて自己評価していると思われる。 <要望・意見等> ・課題の中でPTAの組織活動の抜本的改革があげられている。今後はチーム学校というスローガンで地域の参加が必須となる。PTAの役割を笠間高の中で十分に検討してうまく生かして行って欲しい。

別紙様式3 (高)

<p>4 学校の改善方策への対応は適切か</p>	<p>A 適切である (2) B おおむね適切である (3) C あまり適切でない D 適切でない</p>	<p>・改善方策への対応はおおむね適切であると考えます。筑波大学合格・日本大学芸術学部合格は誇れるものであると思います。メディア芸術科が定員に満たなかったのでおおむね適切であると思いました。 <要望・意見等> ・教員の働き方改革が大きな問題となっている中で、資格試験を自校で実施することは負担増となる。生徒の自主性を伸長するためにも、公開試験場での受検を促す方向で検討して欲しい。</p>
<p>5 その他(各学校の状況に応じて設定) これからの笠間高校はどのような方向に進んでいくのが望ましいか、ご記入下さい。</p>		<p>・魅力ある学校づくりに努力している成果が表れていると思います。中学校としての指導も、笠間高校のHPの情報から進路指導ができております。 ・進学に向けてお願いしたい。 ・⑨社会への貢献を鑑みた地域との交流等に市行政（警察署含む）を巻き込んだ取組ができないか（市街美化協力 年3回位）。現在は笠間駅周辺のみである。一般的学校のイメージは閉鎖的であるが、地域との関わりを多く持つことにより（⑨ ⑩ の目標）開放的な学校としてイメージアップが図られると思われる。 ・保護者、地域と連携することは今後の重要課題である。家庭学習の促進とあわせて、生徒の生活指導にも保護者の一層の関与を期待したい。服装頭髪指導に関して、教員（学校）－生徒－保護者の相互理解による自主的な規則順守の方法を考えられないだろうか。</p>